

# 佐倉ばら会通信

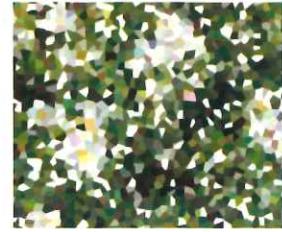
Sakura Rose Society

事務局

住所 :〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留

TEL 080-5966-1187 FAX 043-487-1539

URL :<http://www.facebook.com/sakurabarakai/>



No.  
10  
2020.May

## 佐倉ばら会創立10周年 バラを通して潤いのある街へ 佐倉ばら会 会長 前原克彦

早いもので、佐倉ばら会は、本年、創立10周年を迎えました。10年前、小さなばら会が産声を上げました。2011年（平成23年）に、国際ヘリテージローズ会議を佐倉で開催（東日本大震災のため実際には翌年に開催されました）するにあたり、佐倉から世界にバラ文化を発信し、バラ文化を醸成させ、まち並みをバラで飾り、世界からのお客様をお迎えするため、2010年（平成22年）3月に佐倉ばら会が発足しました。

お蔭様で、この間、組織の充実と強化を図りつつ、小さいながらも着実に歩みを進めてまいりましたが、会員も60名を超えるまでに成長いたしました。これもひとえに、会員の皆様の努力の賜物と心から感謝申し上げます。



佐倉ばら会通信

次の10年は、この10年で蓄えたノウハウを生かし、新しい未来を切り開いていく10年とするため、会員の皆様と共に、規約に掲げた目標の達成を目指し、行政、バラ文化研究所、佐倉商工会議所、佐倉市観光協会等、各方面のご協力を仰ぎながら、文化都市づくりの一翼を担ってまいりたいと思います。

会員の皆様、これからも、佐倉ばら会の発展のために、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



配布したミステリーローズの苗

今回、ミステリーローズの苗を希望する方に、直接お渡しするという方式のなかで、佐倉堀田邸ミステリーローズについてのご質問も多數いただきました。普段からバラを庭に植えられている方、今回初めてバラを植えられる方、庭に草花はあるが、バラは初めての方など、皆さんのが興味や反響も大きいものがありました。

また、この配布を通して、佐倉ばら会の存在を知つていただく機会にもなったと思います。

佐倉ばら会では、今後も、潤いのあるまちづくりの一助として、こうした事業を引き続き、行っていきたいと考えていますので、皆さんのご理解とご協力を願いいたします。

最後に、今回の事業については、公益信託の大きなご協力がなければ実施すること出来ませんでした。それぞれ携わつてくださいました皆様に、心から感謝申し上げます。



苗に付けたラベルの表裏



### 佐倉ばら会 創立10周年記念事業

佐倉ばら会では、創立10周年を記念して、「佐倉ばら会通信」の記念号を10月下旬に発行する計画です。また、10周年記念のバッジを購入し、会員の皆様に配布する予定です。

佐倉ばら会では、令和元年度事業として、佐倉堀田邸ミステリーローズ686株を佐倉市民に無料配布いたしました。これは、バラを通して潤いのあるまちづくり事業の一環として、公益信託佐倉街づくり文化振興白井基金の助成を受け、また、佐倉商工会議所の協力をいただき、NPO法人バラ文化研究所へ、ミステリーローズの接木木、育成を依頼しました。佐倉ばら会が、その納入を受けて、実施されたものです。

今回は、昨年の7月1日から、佐倉商工会議所の窓口で、電話による申し込みを受け付けましたが、希望する方が大変多く、3日までには予定配布数に達したため、終了とさせていただきましたが、その後も希望する方が多く、ご希望にそえなかつた皆様にはお詫び申し上げます。

今回、ミステリーローズの苗を希望する方に、直接お渡しするという方式のなかで、佐倉堀田邸ミステリーローズについてのご質問も多數いただきました。普段からバラを庭に植えられている方、今回初めてバラを植えられる方、庭に草花はあるが、バラは初めての方など、皆さんのが興味や反響も大きいものがありました。

また、この配布を通して、佐倉ばら会の存在を知つていただく機会にもなったと思います。

佐倉ばら会では、今後も、潤いのあるまちづくりの一助として、こうした事業を引き続き、行っていきたいと考えていますので、皆さんのご理解とご協力を願いいたします。

最後に、今回の事業については、公益信託の大きなご協力がなければ実施すること出来ませんでした。それぞれ携わつてくださいました皆様に、心から感謝申し上げます。

佐倉ばら会では、令和元年度事業として、佐倉堀田邸ミステリーローズ686株を佐倉市民に無料配布いたしました。これは、バラを通して潤いのあるまちづくり事業の一環として、公益信託佐倉街づくり文化振興白井基金の助成を受け、また、佐倉商工会議所の協力をいただき、NPO法人バラ文化研究所へ、ミステリーローズの接木木、育成を依頼しました。佐倉ばら会が、その納入を受けて、実施されたものです。

今回は、昨年の7月1日から、佐倉商工会議所の窓口で、電話による申し込みを受け付けましたが、希望する方が大変多く、3日までには予定配布数に達したため、終了とさせていただきましたが、その後も希望する方が多く、ご希望にそえなかつた皆様にはお詫び申し上げます。

今回、ミステリーローズの苗を希望する方に、直接お渡しするという方式のなかで、佐倉堀田邸ミステリーローズについてのご質問も多數いただきました。普段からバラを庭に植えられている方、今回初めてバラを植えられる方、庭に草花はあるが、バラは初めての方など、皆さんのが興味や反響も大きいものがありました。

また、この配布を通して、佐倉ばら会の存在を知つていただく機会にもなったと思います。

佐倉ばら会では、今後も、潤いのあるまちづくりの一助として、こうした事業を引き続き、行っていきたいと考えていますので、皆さんのご理解とご協力を願いいたします。

最後に、今回の事業については、公益信託の大きなご協力がなければ実施すること出来ませんでした。それぞれ携わつてくださいました皆様に、心から感謝申し上げます。

令和元年度事業として初の試み  
686株を配布

佐倉堀田邸ミステリーローズ



前原克彦佐倉ばら会会長による、新シリーズです。

## 佐倉 堀田邸ミステリーローズ

堀田家歴代の当主が眠る廟の入り口、大きなモミジの木に一本のツルバラが絡まり、春には濃いピンクの花を咲かせていました。このバラは11代当主の堀田正恒候がヨーロッパから持ち帰った、と言われています。

このバラの品種は何か、国内外の専門家に同定を依頼しました。今のところ約120年前、フランスのナボナンが作出したティー系のツルバラであろうという説が有力です。

一方、150年前にハンガリーのゲシュウインドによって作出された、という説もあります。いずれにせよ、100年以上前にヨーロッパで作られた中国由来のツルバラであることには間違いないようです。

「現代バラのルーツ」シリーズは前回をもって紹介がすべて終了いたしました。今回からは話題のバラ、歴史的な名花等を取り上げて解説いたします。



ミステリーローズ

## ●佐倉草ぶえの丘バラ園のご案内●

「佐倉草ぶえの丘バラ園」(佐倉市飯野820)は、後世に残さなければならぬヘリテージローズ(原種とオールドローズ)の収集、保存をメインに、世界的にも例の少ないボランティアによって管理、運営されているバラ園で、平成18年(2006年)4月29日に開園しました。

敷地面積約1,150平方メートル、植栽品種は約1,050種、植栽本数は約2,500株、園内は、ミスター・ローズこと、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等、15のコーナーに分けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。また、昔の佐倉の風景をモチーフにし、さらに、来園された皆さんの憩いの場となるように設計されており、バラ園を散策しながら、長いバラの歴史に思いを馳せながら、ヘリテージローズの香りと優しさに触れていただけるバラ園です。また、バラと共に、多くの草花も植栽されており、宿根草を中心に、1年草や球根を組み合わせ、バラとの景観を考慮しながら、白、ピンク、ブルー等淡い色の草花を配しています。園内をゆっくりと散策しながら、季節とともに移り変わるバラと草花との織りなす風景を楽しむことが出来ます。

「佐倉草ぶえの丘バラ園」は、世界的にも高く評価されており、平成26年(2014年)には、アメリカのカリフォルニア州サン・マリノ市にある教育研究機関Great Rosarians of the World Programから殿堂入りバラ園の表彰を受け、平成27年(2015年)には、世界バラ会連合から、優秀庭園賞を受賞しています。このダブル受賞は、アジアで唯一、「佐倉草ぶえの丘バラ園」だけです。

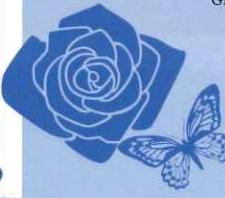
また、「佐倉草ぶえの丘バラ園資料室」には、鈴木家から寄贈された書籍、愛蔵品等、様々な資料を合わせて約9,400点が所蔵されています。資料室を利用する場合は、佐倉草ぶえの丘事務室までお申し込みください。

→佐倉草ぶえの丘バラ園を運営・管理するNPO法人バラ文化研究所では、ボランティアを募集しています。活動は、バラの植栽、ガーデンの構造物づくり、写真撮影、草花の管理などです。体験日もありますので、気軽に問い合わせください。バラ、自然、草花等の好きな仲間と一緒に、あなたも参加してみませんか。

問い合わせ・NPO法人 バラ文化研究所(〒285-0003 千葉県佐倉市飯野820)・電話/FAX:043-486-9356



佐倉草ぶえの丘バラ園入り口



在りし日の野村和子氏

祈ご偲びと共に、ご功績をし上げます。いふ福誰も故人をしおでを



野村和子氏が逝去

## つるバラ誘引講習会／木バラの剪定講習会

NPO法人バラ文化研究所とのコラボレーションにより、令和2年2月1日(土)と12日(水)に、つるバラの誘引講習会と、木バラの剪定講習会が開かれました。

バラの誘引や剪定は、新旧の枝を更新し、全ての枝が太陽の光に当たり、風通しが良い状態になるように樹形を整えます。

さらに、バラの健康状態を観察して、生育不良や病害虫等があれば、適切に処理を行います。こうしたことを施すことによって、木が力を蓄え、春には一斉につぼみをつけて、時期を同じくして花を咲かせることになります。

参加された皆さんは、剪定バサミを使い、春から初夏にかけて咲くバラの位置や、風

景を想像しながら、枝をポールやスクリーンに結び付けたり、剪定したりしながらの実習を通して、誘引、剪定の技術を学んでいただきました。

来年もまた講習会を行う予定ですので、多くの皆さんのが参加をお待ちしています。

◎7月27日(土)に予定していた、野村和子氏によるサロントークについては、講師の野村和子氏がご逝去されましたので、中止となりました。2ページに野村和子氏の訃報の記事を掲載させていただきました。

令和2年2月1日(土)/2月12日(水)

景を想像しながら、枝をポールやスクリーンに結び付けたり、剪定したりしながらの実習を通して、誘引、剪定の技術を学んでいただきました。

来年もまた講習会を行う予定ですので、多くの皆さんのが参加をお待ちしています。

◎7月27日(土)に予定していた、野村和子氏によるサロントークについては、講師の野村和子氏がご逝去されましたので、中止となりました。2ページに野村和子氏の訃報の記事を掲載させていただきました。

参加された皆さんは、剪定バサミを使い、春から初夏にかけて咲くバラの位置や、風

## 佐倉ばら会企画事業から

## 佐倉ばら会 会員の庭園・ガーデンの見学

平成30年4月～令和元年11月

佐倉ばら会の会員の庭園・ガーデンの見学として、平成31年度(令和元年度)も、それ期間限定で開放していただきました。ご協力いただいた庭園・ガーデンは次のとおりです。

ご夫妻で丹精込めて育てられた数多くのバラが見事に咲き競い、5月中旬がピークの佐倉市六崎の湯浅宗倫、サダ子氏の庭園(4月20日～5月末日)、エントランスのオールドローズを中心に、ハーブ類の下草を配置した佐倉市樹木町の佐藤京子氏の庭園(4月20日～5月末日)、邸内に和風、洋風の庭園を有し、四季折々に緑深い自然な雰囲気が素晴らしい佐倉市宮本の羽根井禎敏氏の庭園(5月1日～17日)、そして、バラのほか、斜面に多くの種

類の花々が植栽され、木々のざわめきが聞こえる八千代市勝田台北の貝殻邸リゾートのガーデン(5月7日～11月末日)、多種類のハーブとオールドローズとモダンローズを楽しめる佐倉市木野子の日本サーナの佐倉ハーブ園(5月7日～11月末日)の5か所を、佐倉ばら会として紹介し、会員の皆さんや知り合いの皆さんで都合のつく日にちに、適宜見学していただくということで実施いたしました。ご協力いただいた皆様に、お礼申し上げます。

なお、令和2年度につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、佐倉ばら会として、庭園・ガーデンの見学についての案内は行いませんので、ご了承ください。

令和元年5月6日(月・祝)

草ぶえの丘バラ園や、アカオハーブ&ローズガーデンの取り組みの貴重さや、その価値の高さを述べられました。

そして、自分たちの夢である、バラ属植物が持つ可能性を最大限に活かして真のバラを作るという夢の実現に挑んだこれまでの育種の過程について、スライドを活用しながら、バラの種類、仕立て方、花の型、花の色、香り、珍しい花の色等、様々なバラの特徴について、具体的に、わかりやすくお話をいただきました。

参加された皆さんも、バラの持つ神秘的魅力、その多様性の面白さについて、改めて認識を深めた様子でした。

なお、講演会終了後は、春バラの咲く、佐倉草ぶえの丘バラ園内のオールドローズガーデンでお茶会が開かれ、それぞれ親睦を深めました。

——ヴィル・ヴィラガヴァン氏について——

インドバラ会連合副会長。1990年代から、熱帯地域の高温多湿に耐える新しいバラの育種を行っています。育種目標は、常緑で、耐病性に優れ、四季咲きで美しいバラ、熱帯植物の鮮やかな花々より美しいバラを作ること。既に、ティーローズ、つるバラ、シラブローズ(半つる性バラ)を中心、数多くの新品種を登録されています。バラの国際会議での講演も多く、2006年には、ギリシャ夫人と共に、ハントントン植物園(アメリカ・カリフォルニア州パサデナ)から、グレート・ロザリアン・オブ・ザ・ワールドプログラムから殿堂者(個人として)を表彰されています。

なお、佐倉草ぶえの丘バラ園には、「インドの夢」のコーナーがあり、ヴィラガヴァン氏の作出したバラが寄贈され、植栽されています。



お茶会でヴィラガヴァン夫妻と前原会長

## ヴィル&amp;ギリジャ・ヴィラガヴァン氏 講演会

令和元年5月6日(月・祝)に、佐倉草ぶえの丘研修室で、オールドローズとるバラのクラブ、佐倉ばら会、NPO法人バラ文化研究所の共催で、インドの育種家のヴィル&ギリジャ・ヴィラガヴァン夫妻により、「VARIETY IS THE SPICE OF ROSES～多様性こそがバラのおもしろさ～」と題した講演会が行われました。

ヴィラガヴァン氏は、「いろいろなことがあるから人生はおもしろい、そしてそれはバラでも言えること。バラ園は多様なバラがあつてこそ、魅力的な場所になる。バラ属植物には豊かな多様性があるので、それを活かすことさえできればそれは、難しいことではない。バラには温帯の植物だといつ誤ったイメージがあり、また、ほかの植物と一緒に栽培するには気難しくて、世話をするのが大変だと考えられている。しかし、この考え方は間違っている。小さなバラ園でもほかの植物との混植は可能であることを指摘してこなった私たちバラ栽培者にも責任の一端がある。バラは花の女王かもしれません。でも、女王にはお付きの者が必要。

伝統的なバラ園では、バラ専用の大きな長方形または正方形の花壇でバラは栽培すべきだと考えられていた。バラ愛好家でなければこれは受け入れがたいもの。現代の庭では面積は限られ、園芸好きの人たちはバラとともにたくさんの種類の植物を植えたいと願うものであり、私たちもその方法を考えなくてはならない」として、佐倉

バラは花の女王かもしれません。でも、女王にはお付きの者が必要。

伝統的なバラ園では、バラ専用の大きな長方形または正方形の花壇でバラは栽培すべきだと考えられていた。バラ愛好家でなければこれは受け入れがたいもの。現代の庭では面積は限られ、園芸好きの人たちはバラとともにたくさんの種類の植物を植えたいと願うものであり、私たちもその方法を考えなくてはならない」として、佐倉

## 佐倉市との協働事業から

佐倉ばら会では、平成24年度から佐倉市との協働事業により、JR佐倉駅北口前の景観整備事業を担当しています。これは、佐倉市の観光のテーマでもある「花」を生かし、観光客へのおもてなしの心を表現するため、佐倉市の玄関口ともいえるJR佐倉駅北口前の景観の整備を行うもので、平成30年度も引き続き、通常の管理と併せ、刈り込み、草刈り、植物の植え替え等を、年5回(4月・6月・9月・11月・2月)行いました。

また、佐倉市との協働事業ではありませんが、志津コミュニティセンターのミニガーデンの草刈り、植栽等も同時期に実施しました。

## バラの普及事業

佐倉ばら会では、バラの普及事業として、バラ花壇の整備について、自ら維持管理をしていただける団体等に対して、花壇造りの助成を行っていく計画です。詳しくは、佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。

また、現在、佐倉ばら会では、市内の小・中学校の花壇のバラ剪定作業等を実施していますので、会員の皆さんのお近くの学校の剪定作業に、ぜひ参加され、会員同士の連携を深めることと併せて、バラの普及事業にも積極的にご協力いただきたいと思います。なお、現在、佐倉ばら会として、バラの剪定作業等を実施している学校は、以下のとおりですので、会員の皆さんのが参加を、よろしくお願いいたします。

【佐倉地区】・佐倉小・内郷小・佐倉東小・白銀小・佐倉東中

【臼井、志津、千代田地区】

・臼井小・千代田小・染井野小・下志津小・西志津小・小竹小・青苔小・白井南中



志津コミュニティセンターのガーデン JR 佐倉駅前ガーデン



佐倉東小のバラ園

佐倉小のバラ園

## INFORMATION 佐倉ばら会の事業にご参加ください！

現在計画中の主な事業は、下表のとおりです。

詳しくは、正式決定後に、会員の皆様には、個別にご案内を差し上げますので、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

## 令和2年度 主な事業予定

【協力事業】	【企画事業】	【共同事業等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>● NPOバラ文化研究所主催事業への協力</li> <li>● つるバラ誘引・木バラ剪定講習会への参加 (佐倉ばら会の講習会／企画事業)</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <p>講習会の様子</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バラの普及活動のための事業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の花壇づくりの助成と維持管理。</li> <li>・今後の実施可能な場所及び協力団体等の検討。</li> <li>・市内小中学校花壇のバラ剪定</li> </ul> </li> <li>● 日帰りバスツアー           <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とさせていただきます。</p> </li> <li>● 蓮田勝之氏(蓮田バラの香り研究所 所長)による講演会 (紅茶、クッキー付き) 講義内容は未定           <ul style="list-style-type: none"> <li>■日時 7月25日(土) 午後2時~4時</li> <li>■場所 佐倉草ぶえの丘 資料室</li> </ul> </li> <li>● つるバラ誘引・木バラ剪定講習会           <p>令和3年(2021年)1月中に、つるバラの誘引を、2月中に、木バラの剪定を予定(NPOバラ文化研究所主催の講習会に参加)。</p> </li> <li>● ナイトを囲んでバラとボージョレを楽しむ集い           <p>10月24日(土)予定。会員以外の参加もお待ちしています。 午前→佐倉草ぶえの丘バラ園の観賞。午後→食事とワインで創立10周年記念を含めた懇親会</p> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JR佐倉駅北口前景観整備事業(佐倉市との協働事業)。           <div style="text-align: center;"> <p>JR 佐倉駅北口前景観整備事業</p> </div> </li> <li>● 志津コミュニティセンター花壇の維持管理。           <p>佐倉ばら会会員、NPOバラ文化研究所の協力で、植栽及び手入れ(4月・7月・11月・2月)を実施。 日常の水やり等は志津コミュニティセンターで対応。</p> </li> </ul>

以上の事業については、予定ということで、今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更になることもありますので、ご了承ください。皆さんも何か事業のアイデア、ご意見等がございましたら、事務局までお知らせいただければ幸いです。

## 佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会(Sakura Rose Society)では、会員を募集しています。正会員の年会費は、3,000円です。詳細については、佐倉ばら会の事務局まで、お気軽にお問い合わせください。

### ～佐倉ばら会 会則から～

(目的) 第1条 佐倉ばら会(英語名称 Sakura Rose Society)は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的とする。

(事業) 第2条 佐倉ばら会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

(1) 佐倉草ぶえの丘バラ園との連携によるバラ文化の継承及び発展に寄与する事業

(2) NPOバラ文化研究所主催事業への協力

(3) 会員相互の連絡及び親睦に関する活動

(4) バラやガーデニングに関する園芸文化を広く一般に普及する活動

(5) 講習会及び講演会の開催

(6) 情報及び資料の収集並びに知識の提供

(7) 会報その他印刷物の刊行

(8) その他目的達成のために

必要な事業

△佐倉ばら会事務局△

〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留

電話: 080-5966-1187

FAX: 043-487-1539

